

写真情報誌
にゅうせん

水の町

The Town of Water



富山県入善町町勢要覧



水の町

The
Town
of Water



富山県入善町
町勢要覧

ある水は川となり、ある水は湧水となり、
ある水は海へ出て世界を巡り、
やがて天に上って空から降つてくる。

目次

Contents

序章	水の王国（黒部川扇状地）	⋮ 2
	水の神秘（杉沢の沢スギ・沢スギ自然館）	⋮ 5
	水の幸（ジャンボ西瓜）	⋮ 7
	水の詩（チューリップ畑と北アルプス）	⋮ 9
	水の里（散居村）	⋮ 11
	水の恵（湧き水）	⋮ 13
	水の音（コスモホール）	⋮ 15
⋮		⋮
17		
	水の神（墓ノ木タイマツ祭り）	⋮ 19
	水の心（祭・イベント）	⋮ 21
	水の道（水の小径）	⋮ 23
	水の町1（町の施設）	⋮ 25
	水の町2（観光モデルコース）	⋮ 27
	水の町3（町の歩み）	⋮ 29
	水の町4（交通ガイド）	⋮ 31
		⋮
35		
	水の未来（エネルギー・海洋深層水・産業）	⋮ 35
		⋮
	終章	



水の王国

The
Kingdom
of Water

黒部川扇状地

序章

水の力がつくりあげたアート、
これが日本屈指の美しい大扇状地。

北アルプスを背景に緑豊かな水田が広がる黒部川扇状地。扇の角度は約60度、扇頂から海岸までは約13・5kmと、日本屈指の大きさと美しさを誇ります。まさに理想的な形をした扇状地に、水の王国、入善町は位置しています。

黒部川は鷲羽岳を源に、立山連峰と後立山連峰の間にV字形の深い谷を刻み、急勾配のなかを富山湾へと一気に注ぐ一級河川、かつては「四十八ヶ瀬」とも呼ばれ、洪水のたびに氾濫と移動を繰り返し、幾重にも川筋が分かれる暴れ川でした。

黒部川扇状地は、黒部川のたび重なる洪水の歴史を、先人たちの知恵と汗を結集させた治山治水事業によって乗り越え、県内有数の稲作地帯へと

大転換を遂げたのです。

黒部川の水は、扇状地の中を伏流水となつて流れ、清らかな湧水となって自噴しています。「黒部川扇状地湧水群」は昭和60年に環境庁から全国名水百選に選定されました。

扇状地を流れる清浄な水は、町特産のコシヒカリやジャンボ西瓜などを育て、独自の祭りや文化を育んできました。また、豊かな地下水を求めて、ITや自動車関連、飲料や食品などの企業も数多く進出。農業用水を使った小水力発電など、あたらしいエネルギーも生み出しています。町を流れ湧き出る水は、このまちの命。暮らしを潤すとともに活性化の切り札として期待されています。



Bordered by the Northern Japan Alps and spread with rich green rice paddies is the Kurobe River alluvial fan. With an angle of 60° and a 13.5 kilometer expanse, the alluvial fan is renowned for its beauty and size. Despite its history of flooding, it's been developed into a prominent rice-producing district through the persistent efforts of its forefathers in structural erosion and flood control. The water that flows through the alluvial fan grows the town's specialty products (such as its *Koshihikari* rice and jumbo watermelon), and has nurtured unique festivals and culture. Furthermore, many companies requiring an abundance of groundwater such as those in IT, automobile-related, and food and beverage production have expanded here. To put it simply, the water that springs from this town is its lifeline.

水の神秘

The
Mystery
of Water

杉沢の沢スギ
沢スギ自然館

湧き水のやさしさが、
不思議な沢スギを育てる。



A national natural monument, *Sugisawa no Sawasugi* is a unique flatland spring water area where Japanese cedars flourish. The spring water from within the *Sugisawa* forest was chosen as one of the 100 Selected Water Spots in Japan. Up until 1969, the Japanese swamp cedars covered approximately 45 hectares (450,000 square meters). However, due to land consolidation efforts, most of the region was converted into rice paddies, and currently only 2.7 hectares remain. Japanese swamp cedars grow from saplings that repeatedly sprout from their bases after being knocked down by the wind and snow. A rare layering phenomenon can be seen when, bending under their own weight, the cedars touch the ground and then sprout and grow once more.

成長。スギ自体の重みで曲がった部分が着地して、そこから発芽し成長する珍しい伏条現象が見られます。この不思議な植生は、黒部川扇状地が生んだ、まさに奇跡なのです。

沢スギは、その根元から萌芽した苗木が、風や雪の重みで倒れては元に戻るということを繰り返しながらいます。

沢スギは、昭和44年頃までは入善町の海岸沿いに約45haあり、人が手入れしていた暮らしの林でした。沢スギはかつての黒部川の浅い流れのあとに生育し、石が多く、根が深くならないため成長が遅く年輪が細かいのが特徴。建築用材として、そして、その葉は、燃料として利用されたものでした。昭和37年から始まった整備事業でそのほとんどが水田となり、現在は2.7haのみが保存されています。

海岸そばにある不思議な林。入善町吉原地区の国の天然記念物「杉沢の沢スギ」です。平地の湧水地帯にスギが生育しているのは、日本では唯一という貴重な場所。林内の湧き水は「黒部川扇状地湧水群」として全国名水百選に選ばれています。湧き水の影響で冬でも比較的暖かいため、タブノキ、ユズリハ、シダ類など暖地性の植物が数多く生育。湧き水は水生植物や水中動物などの多様な命を育み、訪れる人々の心も潤してくれます。最近では新品種の菊咲き性のサクラ「入善乙女キクザクラ」が発見され、大きな話題となりました。



日本一大きなジャンボ西瓜は、
水の恵みと真心の大きさ。



A specialty product of the town, the Nyuzen Jumbo Watermelon has been famous for over 110 years as the biggest watermelons in Japan. With a length of about 40cm and a diameter of about 30cm, they are impressive in size and have a unique rugby ball shape like. They usually weigh between 15 and 25 kilograms, though the larger ones may weigh as much as 30 kilograms. They are wrapped in handmade cushions weaved out of straw, and are shipped around the country near the end of July. Although the number of growers has decreased, agricultural practices have improved production, and with these fresh watermelons in hand the refreshing bounties of summer are reaching people all over Japan.

情を一身に浴びて、大きく良質なスイカに育つのです。
ジャンボ西瓜の栽培が始まったのは明治20年。黒部市荻生村で、アメリカから優良品種を取り寄せたなかで、皮が厚く輸送に適したラットルスネーク種が選ばれました。黒部川扇状地の豊富な地下水と水はけの良さが、スイカの栽培に適していました。栽培が盛んになり、大正から昭和はじめには、扇状地一帯は日本一のスイカの産地に。

その後、生産者は減りましたが、品種改良がさらに進められ、町を代表する特産品として全国の人々に、夏の恵みと涼を届けています。

みずみずしく上品な甘さが口の中いっぱいに広がり、サクサクとした歯ごたえもうれしい、夏の果実の王様。入善町の特産品として、110年以上にわたって愛されてきたのが日本一大きなスイカ、入善ジャンボ西瓜です。

長さは約40cm、直径は約30cm。重さは15～25kgで、重いものでは30kgにもなるという迫力の大きさとラグビーボールのようなユニークな形。わらで編む手作りの「さん俵」の座布団に包まれて、7月下旬から、全国へ出荷されています。

ジャンボ西瓜は、接ぎ木ではなく種から育てる自根栽培。扇状地の豊富な地下水を深い根で吸い上げ、一株の苗で一つの実だけを残して栄養と水分を集中させます。手間のかかる栽培法ですが、その分、生産者の愛情を一身に浴びて、大きく良質なスイカに育つのです。

The Fortune of Water
水の幸
ジャンボ
西瓜

水の詩

The
Song
of Water
チューリップ畑と
北アルプス

真っ白な雪が育てる花畠は、
うれしい春の心象風景。



The tulip is the prefectural flower of both Toyama Prefecture and Nyuzen Town. Even within Toyama, the largest tulip bulb-producing prefecture in Japan, Nyuzen is well known for the high level of their production. The Nyuzen Flower Road Festival is held every year during the latter half of April. In this festival 2.2 million tulips, consisting of 110 individual species, bloom superbly in a 6 hectare field bustling with people from around the country. Today, nearly 20 farms produce 3.3 million bulbs annually, and thanks to the consistent efforts and time-tested technical skills of the growers, the town of Nyuzen has created more new species than ever before.



30万球の球根などを生産。生産者の長年の努力と技術力で、これまでに数多くの新品种も入善町で誕生しています。厳しい検査を通った高品質の球根は、市場に出荷され、日本各地で可憐な花を咲かせています。

現在は約20戸の農家が、年間約3

haの圃場に110品種、220万本のチューリップが咲き誇り、県内外の人々で賑わいを見せます。

入善町でチューリップの球根生産が本格的に始まつたのは昭和14年。戦時には一時中断しますが、昭和22年に砺波から球根を導入して、栽培を再スタート。黒部川扇状地は砂質の土壤で水はけが良く、冬に雪が積もることで地中の温度と湿度が一定に保たれ、球根を霜の被害から守ることができます。栽培に適した土地だったことから、昭和30年代半ばには生産者が300人を超えたこともありました。

チューリップは富山県の花であり、入善町の花。日本一のチューリップ球根の产地である富山県のなかでも、入善町は有数の产地として知られています。入善町では、より多くの人に、この風景を楽しんでもらおうと、毎年4月中旬から下旬に「にゅうぜんフラワーロード」を開催。約6haの圃場に110品種、220万本のチューリップが咲き誇り、県内外の人々で賑わいを見せます。

春の麗らかな風に揺れる、可憐なチューリップの花々。真っ白な雪を冠つた3千m級の北アルプスを背景に、雄大な自然のなかでチューリップが咲き競う絶景。待ち望んだ春の訪れを実感できる、心癒される風景です。



水の里

The Home of Water



散居村

奇跡の田園風景には、
先人の熱い思いが注がれていた。

A tranquil landscape spreads across the whole area of the Kurobe River alluvial fan, with houses scattered here and there about the region. Rich green groves of trees surround these houses, from which rice paddies flourish and provide a plentiful harvest in the fall. In the past, Nyuzen Town's soil was lacking in both water and nutrient retention properties. Yet in 1951 the town conducted an experimental project to enrich the soil using clay-laden water. This method involved mixing water with red clay from the mountains, and then sending it through irrigation channels into the rice paddies. After ten years of hard work and perseverance the project succeeded, and Nyuzen transformed into one of the best rice-producing regions in the prefecture.



きるようになりました。圃場整備や用排水路の改修も合わせてすすめられるなど、これら先人たちの知恵と努力によつて、入善町はやがて、県内屈指の稻作地帯へと変貌へんめいを遂げていつたのです。

日本有数の美しい扇状地に広がる豊かな農村空間と人々の営みは、北陸新幹線の開業に向けた観光資源としても、大いに期待されています。

そこで、昭和26年から行われたのが、全国初の「流水客土事業」でした。これは、山から採取した赤土と水を混ぜて用水路を通して水田へ送り込むという画期的な工法で、昭和36年には10年間にわたる工事が完了しました。

鉄分の豊富な粘土が入ることによつて水持ちがよくなり、田んぼの水温が上昇して水稻の収量が増加し、質の高いおいしいお米が収穫で

ブランド米として人気を集めています。やわらかく粘りのある食感で、冷めてもおいしいと評判です。

入善町の黒部川扇状地一帯に広がる、のどかな散居村の風景。かいによと呼ばれる緑豊かな屋敷林に囲まれた家々のまわりには、秋に豊かな実りをもたらす水田が広がっています。

水の恵

The
Blessings
of Water

湧き水

こんこんと湧き出る名水は、
まろやかで美味しい、暮らしの水。



入善町の人々の暮らしを潤す水は、上水道ではなく、すべて地下水です。黒部川扇状地の地下を流れる伏流水は、地下で浄化され、さらに磨き抜かれます。この全国名水百選にも選ばれた名水は、普段使いの水でもあります。

扇状地の湧水には、杉沢のように自然に湧き出る地表湧水と、「掘り抜き」と呼ばれる井戸による自噴水があります。海岸沿いの自噴地帯では、各家庭に井戸が設けられ、絶えず豊かな水があふれています。

水温は一年を通して約13℃と冷たく、水質は硬い岩の間を流れるため、カルシウムや鉄などの成分が少ない、まろやかな軟水。おいしい飲み水とし

て利用されるのはもちろん、果物や飲み物を冷やし、洗い物やお風呂など暮らしのあらゆる場面で、湧き水がふんだんに使われています。水が絶え間なく湧き出るこのまちでは、そんな贅沢な風景もあたりまえのこととなっているのです。

地下水は、さらに入善沖の海底などからも豊富に湧き出でていて、昭和55年に吉原沖で発見された1万年前のものと見られる世界最古の海底林を現代に遺し、豊饒な富山湾の漁場と多種多様な魚介を育んできました。この豊かで清らかな水を求めて、飲料メーカーや電子部品、自動車関連など様々な企業が進出し、人々の暮らしに潤いを与えています。水がこのまちのエネルギーの源となっています。



Surprisingly enough, the thirst-quenching water of Nyuzen comes not from above ground but below it. All year round, the water maintains a cool temperature, around 13° Celsius. Known in geological terms as "soft water", Nyuzen's water contains low levels of calcium and iron, which gives it a light and refreshing taste. This water is also favorably used for daily activities, such as laundry or bathing. Nyuzen's water alone has enticed various companies to bring their business to the town and revitalize the lives of its people.



このまちに居ながら、
世界の音楽家たちの音に包まれる。



Nyuzen plays proud host to a cultural center boasted of throughout the country. Well regarded by prominent musicians around the world, Cosmo Hall is considered to be one of the best chamber music halls in the Hokuriku area. A multipurpose hall with a seating capacity of 560 and movable sound-reflecting boards, Cosmo hall opened in 1986 and has since become a famous attraction for classical music fans. The Central Community Center and Town Library were later added to the Nyuzen Town Hall where Cosmo Hall is located, and Medieval European-style galleries were constructed to connect each facility. It is truly a unique place for entertainment and relaxation.



一流の演奏家たちがその舞台に立つ
てきました。
ベーゼンドルファー・ヤマハなどのピアノを備え、
世界の名演奏家たちによる演奏会は
もちろん、町民の文化・芸術活動や生
涯学習の場として、これからも幅広
く活用されていきます。

庄司紗矢香らが何度も演奏したほ
か、シャルル・デュトワ指揮によるモ
ントリオール交響楽団、アルバン・ベ
ルク四重奏団、ピアニストのマルタ・
アルゲリッチ、マリア・ジョアン・ピ
リス、ダン・タイ・ソンなど、世界の

コスモホールがある入善町民会館
に、中央公民館や町立図書館も併設
され、中世ヨーロッパ風の回廊が各
施設を結び、独特的な景観と憩いの場
をつくり出しています。

これまでに、世界的なヴァイオリ
ニストであるギドン・クレーメルや、
庄司紗矢香らが何度も演奏したほ
か、シャルル・デュトワ指揮によるモ
ントリオール交響楽団、アルバン・ベ
ルク四重奏団、ピアニストのマルタ・
アルゲリッチ、マリア・ジョアン・ピ
リス、ダン・タイ・ソンなど、世界の

The Sound of Water
水の音
コスモホール



コスモ
ホール

The
Sound
of Water

緑豊かな田園都市、入善町。ここには全国に誇れる文化の拠点があります。世界的な著名な音楽家たちから、「音響の質がまるやかで、ヨーロッパの響きがする」「自然な音の響き」など絶賛され、北陸有数の室内楽ホールとして広く知られるコスモホール。一流の演奏家たちが奏でる至福の音に包まれる贅沢を味わうことができる空間です。

東京大学教授の石井聖光氏が音響

設計を手掛けたコスモホールは、可動型の反響板を持つ560席の多目的ホール。空席時には1.9秒の残響時間を持ります。昭和61年の開館以来、多くのクラシック・ファンを魅了する音楽ホールとして有名な場所となりました。

コスモホールがある入善町民会館に、中央公民館や町立図書館も併設され、中世ヨーロッパ風の回廊が各施設を結び、独特の景観と憩いの場をつくり出しています。

これまでに、世界的なヴァイオリニ

ニストであるギドン・クレーメルや、

庄司紗矢香らが何度も演奏したほ

か、シャルル・デュトワ指揮によるモ

ントリオール交響楽団、アルバン・ベ

ルク四重奏団、ピアニストのマルタ・

アルゲリッチ、マリア・ジョアン・ピ

リス、ダン・タイ・ソンなど、世界の

水の美

The
Beauty
of Water



発電所
美術館

想像を超えたアートのエネルギー。
赤煉瓦の発電所が生み出す、



This red brick building built in 1926 was originally a hydroelectric power station, though in 1995 it was restored as the *Nizayama* Forest Art Museum. It retains traces of its original construction, with 10 meter-high ceilings, old giant turbines, and an aqueduct 3 meters in diameter. With such a large space available, professional and aspiring artists alike have created many unprecedented works of art, including constructions of enormous sculptures that could not have been realized in a smaller room. In 1996, the *Nizayama* Forest Art Museum became a registered tangible cultural property of Japan, reflecting its importance as a precious cultural asset that should be appreciated for generations.



自然環境と調和した、歴史あるモダンな建物は、後世に残すべき貴重な文化遺産として、平成8年に国の「登録有形文化財」となっています。

平成25年は合併60周年記念として、入善町出身の画家・西島直紀と、国際的に活躍する画家・O JUNによる2人展を開催。県内外から訪れる多くのアートファンを魅了しました。

入善町下山地区に、大正15年に建てられた赤煉瓦づくりの建物があります。もとは、低落差23mの河岸段丘を利用した発電所で、平成7年に下山芸術の森発電所美術館として再生された特別な空間です。内部には天井高10mの大空間が広がり、巨大タービンや直径3mの導水管の跡が残されています。その独特の雰囲気に触発された、地元や国内外の作家たちがこの空間と対峙。場の持つ力と作家が生み出す新たなエネルギーは、巨大な造形作品など、この場所でしかできない迫力溢れる作品を数多く生み出してきました。

水の神

The God
of Water
墓ノ木
祭り
タイムツ



巨大な松明に灯す火は、 水と闘つた魂の証し。

黒部川は北アルプスの鷲羽岳を源に、富山湾へと注ぐ日本屈指の急流河川。清らかな恵みの川であると同時に、かつては氾濫^{はんらん}のたびに流れを変え扇状地を自由奔放に流れ下つていきました。古くから四十八ヶ瀬、いろは川とも呼ばれ、人々の暮らしや命を脅かす、暴れ川でもあったのです。

250年ほど前の黒部川の大洪水では、中ノ口の堤防が崩れ、村人は下流の村の人々に応援を頼み、堤防の工事を急ぎました。夜には墓ノ木神明社の前で松明をつくり、それを堤防へ運び、夜を徹して堤防を守ったと言います。10月9日の夜の出来事だったため、以後、この日にタイマツ祭りが行われるようになりました。

現在は10月第2土曜日に祭りが行われています。祭りの目玉はなんと言つても大きな松明。高さ5m、直径1・2m。重さ500kgほどの大松明を2本つくります。芯は大小50本ほどの竹を束ねてつくれられ、まわりにはワラをあてて、縄で巻かれています。

神明社から約800m上流の水護神社まで、米唄に合わせて大松明が運ばれ、子どもたちも数十本の小松明を灯しながら練り歩きます。松明は水護神社できれいに燃やされ、人々は水神さまに水への感謝の気持ちを捧げるとともに、豊作と息災、子どもたちの健康と成長を祈ります。昭和52年には、町の無形民俗文化財に指定されました。



Almost 250 years ago, the Kurobe River flooded heavily, at which point torches made at Hakanoki-shinmeisha Shrine were carried to and placed at the river banks. It is said that these torches protected the town all night long. Thus, in honor of this miracle a festival is held every year on October. As you could imagine, the highlights of the festival are the huge torches. Two torches, 5 meters high, 1.2 meters in diameter, and weighing 500 kilograms are constructed and then carried 800 meters upriver from Shinmeisha Shrine to Mizugo Shrine. Amidst the song and dance that accompanies these torches, children get to march along with dozens of smaller lit torches. In 1977, the festival was designated one of the town's intangible folk cultural assets.



水の、心

The
Spirit
of Water
祭
イベント

人々の魂が躍動する日、
次世代に伝えたい、まちの心意気。

入善町では、洪水と闘った歴史のなかで生まれた祭りのほかに、農業の豊作や大漁と安全を祈る祭りなどが大切に守られています。親から子、そして孫へ伝えられ、地域の人々が共に助け合い、伝統の祭りを行うハレの日。人々の絆と魂が、独特の文化や信仰を通して受け継がれていきます。

大漁と航海の安全を祈る吉原神社の「えびす祭り」は、8月後半の行事。祭りで歌われる「吉原木遣」は、北前船に乗って、北海道や日本各地の漁場を渡り歩いた若者たちが伝えたもので、町の無形民俗文化財。祭りでかつぐ恵比須丸は、北前船をかたどつたもので、長さ4m、重さは400kgもあります。

新屋や鶴山に代表される入善町の獅子舞は、山県の獅子舞百選にも選定され、特徴的な舞が受け継がれています。

300年以上の歴史がある「舟見七夕まつり」は、参勤交代の大名をもてなすためにはじまったと伝えられる祭り。竹に短冊を飾るほか、歴史上の人物やテレビの主人公などを模した等身大の土人形を飾り、お神酒、米、野菜などを供えして披露。人々の罪やけがれを人形に託して焼くことで、身を清めるという願いを込めたのです。7月6日の花火大会には町内外から大勢の人が訪れます。

8月には、豪華な七夕飾りが商店街を彩る「入善ふるさと七夕まつり」が開催され、夏の風物詩となっています。

さらに、「新屋の大磐まつり」や国の重要無形民俗文化財に指定された「邑町のサイノカミ」など、地域の人々の信仰による貴重な祭りが未来へと伝えられています。



Festival life in Nyuzen runs year-round. Three distinct festivals liven summer time in Nyuzen: the *Yoshiwara-Kiyari*, a work song sung at the Ebisu Festival of Yoshiwara Shrine to pray for a large catch and safe sailing, which has long been one of the town's intangible folk cultural assets; the 300 year-old *Funami Tanabata* Festival, which as rumor has it was invented as a way of entertaining feudal warlords; and Nyuzen's own *Furusato Tanabata* Festival that colors the streets with spectacular decorations. In both autumn and spring, Nyuzen puts on its famous Lion Dance – a distinctive dance that continues to be passed down from generation to generation – which was chosen among the Top 100 Lion Dances in Toyama Prefecture. Meanwhile, winter plays host to the *Sainokami* Festival of Muramachi, which has been designated as one of Japan's national intangible folk cultural assets, and is being passed down to today's generation as well.

水の道

The Path of Water
水の小径

水と緑に彩られた散歩道には、希望の水音が、響いていた。



Mizu no Komichi ("The Small Water Path") flows through Nyuzen via the town's plentiful water supply. With soft sunlight filtering through the trees, and the gentle sound of a babbling stream, this walking path allows for a leisurely stroll of about 1 kilometer, stretching from Nyuzen Town Hall to Nyuzen's Athletic Park. Willows and azaleas that have been planted along the path have become a pleasant sight for the people who enjoy this pathway. At the south entrance one can find the *Dairo Hiroba*, a spiral water wheel that was widely used for power in agricultural work until around 1955. As Nyuzen's interest in renewable energy grew, the town began using the *Dairo Hiroba* for demonstrations and experiments in hydroelectric generation.

南側入り口にはダイロ広場があります。ダイロとは、大正時代から昭和30年頃まで、農作業の動力として広く普及し利用されていた、らせん水車のことです。ダイロ広場の湧水は、水の小径と並行して流れる入善用水から水を取り込んで、黒部川扇状地の自然を生かした先人の英知を知り、水や自然の恵と生きる意味を考えてほしいと設置されました。

入善町では黒部川扇状地研究所に委託して、再生可能エネルギーとして関心が高まる小水力発電の実証実験を、このダイロを活用してスタートさせています。小水力発電は、農業用水や河川の落差を利用した1千kw以下の小さな水力発電のこと。現在は水の小径のLED照明や電飾掲示板に、発電した電気が使われています。将来的本格的な発電設備の建設に向けて、この新しい試みが生かされています。

入善町を流れる豊かな水を利用した水辺空間「水の小径」。せせらぎの音、やさしい木漏れ日の下を歩く散策路が、入善町役場前から入善町運動公園までの南北約1kmにわたって、ゆったりと続いています。

かつてあった小川をイメージしてつくられた小径には、柳やつつじなど、季節ごとにさまざまな表情を見せる樹木や植物が植えられ、散策する人々の目を楽しませています。

小径の北側入り口には、噴水の出るモニュメント広場があり、豊富な地下水が勢いよく地上に湧き上がる自噴水をイメージしています。きれいで豊かな水とともに、入善町が発展する願いを込めたモニュメントです。

南側入り口にはダイロ広場があります。

ダイロとは、大正時代から昭和30年頃まで、農作業の動力として広く普及し利用されていた、らせん水車のことです。ダイロ広場の湧水は、水の小径と並行して流れる入善用水から水を取り込んで、黒部川扇状地の自然を生かした先人の英知を知り、水や自然の恵と生きる意味を考えてほしいと設置されました。

入善町では黒部川扇状地研究所に委託して、再生可能エネルギーとして関心が高まる小水力発電の実証実験を、このダイロを活用してスタートさせています。小水力発電は、農業用水や河川の落差を利用した1千kw以下の小さな水力発電のこと。現在は水の小径のLED照明や電飾掲示板に、発電した電気が使われています。将来的本格的な発電設備の建設に向けて、この新しい試みが生かされています。



水の町

1

The
Town
of Water

町の施設

町全体がファーリードミュージアム、ここは新たな発見の場です。



舟見城址館、山の本陣
入善町舟見33-2 / 0765-78-2730



花月公園
入善町入膳3649-1 / 0765-72-1100 (入善町役場 建設下水道課)



総合体育館
入善町入膳468 / 0765-74-2500



運動公園
入善町入膳456 / 0765-74-2500



杉沢の沢スギ、沢スギ自然館
入善町吉原950 / 0765-72-1710



園家山キャンプ場
入善町下飯野361 / 0765-72-1100 (入善町役場 農水商工課)



健康交流プラザ・サンウェル
入善町上野2793-1 / 0765-72-1103



パーデン明日
入善町舟見1677-1 / 0765-78-2525



下山芸術の森 発電所美術館
入善町下山364-1 / 0765-78-0621



舟川ダム
入善町舟見地先 / 0765-72-1100 (入善町役場 建設下水道課)



海洋深層水活用施設
入善町下飯野251-1 / 0765-76-9100



じょうべのま遺跡
入善町田中790 / 0765-72-1100 (入善町教育委員会事務局)



墓ノ木自然公園
入善町墓ノ木地先 / 0765-72-1100 (入善町役場 建設下水道課)



樋山いろり館
入善町樋山1288-1 / 0765-74-2662



扇状地湧水公苑
入善町下飯野185 / 0765-72-1100 (入善町役場 建設下水道課)



入善観光案内所
入善町入膳3609-15 / 0765-32-4641



青野自然公園パークゴルフ場
入善町小摺戸地先(権藏橋下) / 0765-72-1100 (入善町役場 建設下水道課)



入善まちなか交流施設 うるおい館
入善町入膳5232-5 / 0765-72-0123



入善町民会館 コスモホール
入善町入膳3200 / 0765-72-1105



入善漁港
入善町芦崎地先 / 0765-72-1100 (入善町役場 農水商工課)

水の町 2

The Town
of Water

観光モデルコース

町を歩けば、いたるところで水との出会いが待っている。

A アートと自然にふれるコース



1 観光案内所

うるおい館横にある観光案内所。入善のことが知りたければ、まずここへ。

2 コスモホール

ヨーロッパの街角のような外観にも注目。約1キロのウォーキングコース。

3 水の小径

せせらぎを感じながら、創造空間でアートを体感。展望台から北アルプスを一望。

4 サンウェル

健康・福祉・交流の場。

5 発電所美術館

大正15年に建設された発電所を美術館に。天井高10メートルの創造空間でアートを体感。

6 下山八幡社

巨大な境内林や大フジの緑に包まれる神秘の森。

7 墓ノ木自然公園

野鳥や昆虫観察、清流遊びなど、ワイルドに体験。ゴルフ場36ホール。

8 青野自然公園

自然とのふれあいを楽しめるパーク。

- 4月 にゅうぜんフラワーロード(中旬～下旬)
芦崎のえびす祭り(下旬)
- 5月 子供ニジマス釣り大会(5日)
とれたて朝市にゅうぜん(毎月第2、第4土曜)
- 6月 観音祭り(下旬)
- 7月 下山八幡社の滝開き(1日)
舟見七夕まつり(6～7日、マラソン大会、花火大会、鼓笛隊)
クリーン入善7129大作戦(上旬、町民清掃活動)
深層水ふれあいデー(中旬)
入善ジャンボ西瓜ふるまい市(下旬)
新屋の大磐祭り(下旬)
- JAみな穂・入善・朝日・うまいもん勢揃い市(下旬)
- 8月 入善ふるさと七夕まつり(5～7日)
墓ノ木自然公園で淡水魚つかみどり大会(中旬)
盆音頭(中旬、町指定文化財)
サンウェルdeフェスタ(下旬)
吉原のえびす祭り(下旬、吉原木遣が町指定文化財)
- 9月 生涯学習推進大会／男女共同参画フォーラム(上旬)
- 10月 墓ノ木タイマツ祭り(中旬、町指定文化財)
秋祭り(中旬、各地区で奉納獅子舞など)
にゅうぜん商工フェア・まつりんぴく(下旬)
JAみな穂のみな穂フェスティバル(下旬)
十三寺御開帳(下旬、6年ごと)
- 11月 入善町駅伝競走大会(第1日曜)
扇状地マラソンinにゅうぜん大会(第3日曜)
ハートフル・フェスティバル(下旬)
- 12月 とれたて朝市にゅうぜん・歳の市(下旬)
- 1月 元旦マラソン大会(1日)
消防出初式・裸放水(上旬)
成人式(第2日曜)
邑町のサイノカミ(第2日曜、国重要文化財)
JAみな穂のふれあい雑煮まつり(下旬)
- 2月 山神社の山神様祭り(9日)
入善ラーメンまつり(中旬)

The Town
of Water

観光モデルコース

B 名水と海辺に出会うコース

ジャンボール三世

1 じょうべのま遺跡

平安時代初期の荘所跡。悠久の歴史に思いを馳せる。

2 風力発電施設

発電量をリアルタイムで表示。

3 杉沢の沢スギ

国指定天然記念物、緑と名水のオアシスでリラックス。

4 入善海洋深層水活用施設

神秘の水、海洋深層水を手軽に給水。

5 扇状地湧水公園

母なる川、黒部川がおりなす大自然。名水百選のひとつ。

6 富山湾に沈む夕陽

地下36mからこんこんと湧き続ける自噴地帯の代表的湧水。

7 高瀬湧水の庭

「天然の化粧水」と評判の高い温泉。

1 舟見ふるさとの森

宿場町として栄えた舟見地区、中世末の山城跡に建てられた。

2 舟見城址館

美しい日本の原風景ともいわれる田園地帯。

3 散居村

日本の農山村の伝統的な生活文化にふれる施設。

4 山の本陣

舟川ダムを見た後は、トレッキングコースで大自然をエンジョイ。

5 負釣山

「天然の化粧水」と評判の高い温泉。

6 バーデン明日

舟川ダムを見た後は、トレッキングコースで大自然をエンジョイ。

C 歴史と温泉に癒されるコース



1 舟見ふるさとの森

気軽にふれあえる身近な自然。

2 舟見城址館

中世末の山城跡に建てられた。

3 散居村

美しい日本の原風景ともいわれる田園地帯。

4 山の本陣

舟川ダムを見た後は、トレッキングコースで大自然をエンジョイ。

5 負釣山

「天然の化粧水」と評判の高い温泉。

6 バーデン明日

舟川ダムを見た後は、トレッキングコースで大自然をエンジョイ。

7 富山湾に沈む夕陽

こんこんと湧き続ける自噴地帯の代表的湧水。

8 高瀬湧水の庭

「天然の化粧水」と評判の高い温泉。

9 開湯の湯

舟川ダムを見た後は、トレッキングコースで大自然をエンジョイ。

10 負釣山

「天然の化粧水」と評判の高い温泉。

11 舟見城址館

中世末の山城跡に建てられた。

12 散居村

美しい日本の原風景ともいわれる田園地帯。

13 負釣山

「天然の化粧水」と評判の高い温泉。

14 開湯の湯

舟川ダムを見た後は、トレッキングコースで大自然をエンジョイ。

15 負釣山

「天然の化粧水」と評判の高い温泉。

16 開湯の湯

舟川ダムを見た後は、トレッキングコースで大自然をエンジョイ。

17 負釣山

「天然の化粧水」と評判の高い温泉。

18 開湯の湯

舟川ダムを見た後は、トレッキングコースで大自然をエンジョイ。

19 負釣山

「天然の化粧水」と評判の高い温泉。

20 開湯の湯

舟川ダムを見た後は、トレッキングコースで大自然をエンジョイ。

21 負釣山

「天然の化粧水」と評判の高い温泉。

22 開湯の湯

舟川ダムを見た後は、トレッキングコースで大自然をエンジョイ。

23 開湯の湯

舟川ダムを見た後は、トレッキングコースで大自然をエンジョイ。

24 開湯の湯

舟川ダムを見た後は、トレッキングコースで大自然をエンジョイ。

25 開湯の湯

舟川ダムを見た後は、トレッキングコースで大自然をエンジョイ。

26 開湯の湯

舟川ダムを見た後は、トレッキングコースで大自然をエンジョイ。

27 開湯の湯

舟川ダムを見た後は、トレッキングコースで大自然をエンジョイ。

28 開湯の湯

舟川ダムを見た後は、トレッキングコースで大自然をエンジョイ。

29 開湯の湯

舟川ダムを見た後は、トレッキングコースで大自然をエンジョイ。

30 開湯の湯

舟川ダムを見た後は、トレッキングコースで大自然をエンジョイ。

31 開湯の湯

舟川ダムを見た後は、トレッキングコースで大自然をエンジョイ。

32 開湯の湯

舟川ダムを見た後は、トレッキングコースで大自然をエンジョイ。

33 開湯の湯

舟川ダムを見た後は、トレッキングコースで大自然をエンジョイ。

34 開湯の湯

舟川ダムを見た後は、トレッキングコースで大自然をエンジョイ。

35 開湯の湯

舟川ダムを見た後は、トレッキングコースで大自然をエンジョイ。

36 開湯の湯

舟川ダムを見た後は、トレッキングコースで大自然をエンジョイ。

37 開湯の湯

舟川ダムを見た後は、トレッキングコースで大自然をエンジョイ。

38 開湯の湯

舟川ダムを見た後は、トレッキングコースで大自然をエンジョイ。

39 開湯の湯

舟川ダムを見た後は、トレッキングコースで大自然をエンジョイ。

40 開湯の湯

舟川ダムを見た後は、トレッキングコースで大自然をエンジョイ。

41 開湯の湯

舟川ダムを見た後は、トレッキングコースで大自然をエンジョイ。

42 開湯の湯

舟川ダムを見た後は、トレッキングコースで大自然をエンジョイ。

43 開湯の湯

舟川ダムを見た後は、トレッキングコースで大自然をエンジョイ。

44 開湯の湯

舟川ダムを見た後は、トレッキングコースで大自然をエンジョイ。

45 開湯の湯

舟川ダムを見た後は、トレッキングコースで大自然をエンジョイ。

46 開湯の湯

舟川ダムを見た後は、トレッキングコースで大自然をエンジョイ。

水の町

3

The Town
of Water
町の歩み

水に支えられ、水を生かし、
水に支えられてきました。

浦山新、古黒部地内で堤防が一部決壊。

●昭和31年1月 総合事務所が完成。図書館、役場分室、食糧事務所、統計事務所、商工会、黒部川土地改良区事務所が入る（現在は取り壊され、うるおい館駐車場になっている）。

昭和28年
1953~

1953~

●昭和28年10月 旧入善町、上原村、青木

村、飯野村、小摺戸村、新屋村、門山村、横山村が合併して新生入善町が誕生。人口2万8567人、世帯数5018世帯。

当時としては県内最大の町となる。町長選挙が行われ、初代町長に右井栄次郎氏が当選。

●昭和29年3月 町長右井栄次郎氏から退職の申出があり、急施議会が開かれこれに同意した。

4月 町立図書館が完成。入善町社会福祉協議会が発足。町長選が行われ、米澤元健氏が当選。入善町体育協会が設立。



三八豪雪

昭和38年
1963~

1963~

●昭和38年1月 高波により芦崎地区が浸水、吉原海岸の護岸堤が50mにわたり決壊した。2週間にわたり雪が降り続き、1月24日には積雪が2mとなる。これが26日まで続き、県内で死者9人、建物全壊31棟などの被害があり、三八豪雪といわれた。



豪雨により黒部川堤防が決壊

昭和48年
1973~

1973~

●昭和48年5月 健康センターの第1期工事が完成し、業務を始めた。

●昭和48年5月 健康センターの第1期工事が完成し、業務を始めた。

●昭和48年5月 健康センターの第1期工事が完成し、業務を始めた。

●昭和48年5月 健康センターの第1期工事が完成し、業務を始めた。



旧町村長

人が当選。

●昭和33年2月 米澤元健町長が退職を申し出た。

3月 町長選が行われ、米澤甚吾氏が当選。

4月 黒部大橋が、3億円をかけて完成。グラウンドで開催された。

5月 第1回町民大運動会が入善中学校で開催された。

6月 各地区ごとにあった農業共済組合が統合され、入善町農業共済組合になった。

7月 法律の改正により、地区農業委員会が統合されて初めての委員選挙が行われ、7月20日に入善町農業委員会が発足した。

8月 富山県知事は宇奈月町と舟見町の町長、議長を招き、合併促進を要請した。

10月 合併後第2回目の町議会選挙で24名が當選。

12月 昭和26年度から行われていた流水客土事業の最後の事業が、門山村で開始。

12月 台風7号のため、黒部川が増水し、板屋地内で堤防が決壊、大災害にのみられる。

12月 昭和35年7月 町章制定。西入善町が當業を開始。

炊き出しが行わられた。

●昭和36年3月 旧下新川郡の魚津市、黒部市、入善町、朝日町、宇奈月町の2市3町で、富山県東部衛生処理組合を設立。

10月 飯野地区で水田の基盤整備が始まっている。

●昭和37年3月 町長選挙が行われ、米澤甚吾氏が無投票で再選。

11月 第1回町民大運動会が入善中学校で開催された。

12月 舟見町議会は野中分離地区との合併を議決。野中分離についての住民投票が行われ、上今江、下今江、古畑、林尻、島迷、野中二ツ屋、西中、中沢が朝日町から分離して舟見町に合併することになった。

12月 舟見町議会は野中分離地区との合併を議決。野中分離についての住民投票が行われ、上今江、下今江、古畑、林尻、島迷、野中二ツ屋、西中、中沢が朝日町から

●昭和54年4月 昭和52・53年度の継続で進められた黒東小学校が完成。

5月 黒部峡谷、祖母谷の奥鐘橋上流左岸でガケ崩れが起き、大量の土砂が流出したため、水田に流砂と濁水による被害がでた。／じょうべのま遺跡が国指定の史跡となる。

9月 台風12号が来襲。瞬間最大風速が42mに達し、農作物や家屋が大きな損害を受けた。

●昭和55年5月 北陸ダイビングクラブの下田喬士さんが吉原の沖合い500m、水深30～40mで海底林を発見。富山大学の藤井昭二教授はこれを世界最古（推定1万年前）のものと鑑定した。



海底林の発見

会でこれに同意。

10月 町で初の町長、町議のダブル選挙が行われ、町長に柚木春雄氏が当選し、議員には22人が当選。

●昭和57年10月 昭和56・57年の継続事業で進められた上青小学校校舎が完成。

11月 入善駅に特急停車が実現。上越新幹線利用で東京まで4時間30分となった。

12月 総合計画審議会は「活力とうるおいに満ちた文化の町」を将来像とする計画案を町に答申。議会で可決された。

4月 町出身で、直木賞作家・故柏原兵三氏の「文学碑除幕式」が上原公園で開かれた。

6月 「入善町情報公開条例」が議会で可決。／昭和60年7月 黒部川扇状地湧水群が、環境庁の全国名水百選に選定。

9月 町の住民登録が3万人に。／昭和61年1月 町民会館のホール名称を「コスモホール」に決定。

10月 町長、町議ダブル選挙が行われ、町制施行以来初のともに無競争、無投票当選。／飯野小学校が完成。

4月 上原小学校跡地に産業展示会館オーブン。

5月 町民会館オーブン。

11月 新川黒部橋が完成、渡り初め。

●昭和58年4月 合併30周年を記念して、運動公園でチューリップ祭りを開催。／上青小学校開校式。

6月 町民憲章を制定。

7月 町の花にチューリップを指定。

10月 合併30周年記念式典が行われ、元電電公社総裁米澤滋氏を名誉市民に推薦。

12月 昭和48年度から進めてきた「農村モデル事業」が総額17億5200万円の事業費で完了。

11月 昭和49年1月 舟見寿楽苑地域交流ホームが完成し、デイサービス事業開始。

7月 北陸自動車道が全線開通。

8月 町のイメージアップ作戦スタート。10月にはシンボルマークとキッチフレーズ「水キラキラ町いきいき」が決まる。

9月 入善町議会で非核平和都市宣言。

10月 新川黒部橋が完成、渡り初め。

●昭和59年1月 吉原地区に「吉原漁村センター」が完成。

12月 北陸自動車道滑川→朝日間が開通。

●昭和59年1月 吉原地区に「吉原漁村センター」が完成。

10月 新川黒部橋が完成、渡り初め。

●昭和60年1月 米澤記念館が開館。

2月 入善町が国土庁の「水の郷百選」に選定される。

4月 ひばり野小学校が開校。／下山芸術の森発電所美術館がオープン。

6月 洋画家で武蔵野美術大学学長の前田常作氏を名誉市民に推戴。

8月 戦後50周年事業「戦没者追悼式」が挙行される。

●昭和61年1月 米澤記念館が開館。

2月 入善町が国土庁の「水の郷百選」に選定される。

4月 春の大雪で、水稻育苗ハウス903棟が全壊し大きな被害。

6月 黒部川の関西電力出し平ダムで2回目の緊急排砂が実施される。

8月 第1回「津村謙ぶるさと歌謡大会」を開催。

10月 町内で2カ所目のショッピングセンター「さららの里」がオープン。

11月 入善町インターネット放送局が開局。

●昭和62年1月 「ナホトカ号」の重油流出事故で入善町災害対策本部が設置される。

4月 桃李小学校が開校。／沢スギ自然館がオープン。／第1回「ゆうぜんフラワーード」を開催。

5月 町内の下水道整備が始まる。

6月 中國哈密市から市長ら8人が来町。

10月 2000年とやま国体秋季大会が開幕。入善町は成年女子9人制バレーボール競技会場として熱戦が展開される。

10月 町長・町議のダブル選挙が行われ、町長には無投票で柚木春雄氏が3選。町議では現職17名、新人3名が当選。／アサヒビ

ル飲料が入善町に工場進出を正式発表。／平成2年11月 舟見地区に温泉利用の合計画が21世紀に向けてスタート。

11月 第一倉庫社長宮崎隆造氏が建設し、町に寄贈した舟見城址館オーブン。

9月 台風19号で町内各地で大被害。10月 入善町姉妹都市使節団12名派遣。氏を名誉市民に推戴。

●平成4年6月 第二倉庫社長宮崎隆造氏を名誉市民に推戴。

10月 総合体育館オーブン。

11月 第二倉庫社長宮崎隆造氏が建設し、町議ダブル選挙が行われ、町議では現職22人が当選。

●平成13年2月 郷土芸能練習場「ちらる」が完成。

4月 JR入善駅の業務がJR関連会社に委託される。

5月 飯野・吉原・横山の3漁協が合併、「JF入善漁業協同組合」が発足。

8月 町で2カ所目となる特別養護老人ホーム「おあしす新川」が完成。

10月 町長・町議のダブル選挙で米澤政明氏が2期目の当選。

12月 国道8号入善黒部バイパス「四十八ヶ瀬大橋」が開通。／入善海洋深層水活用施設が完成し、深層水の分水が始まる。

●平成14年4月 町内6土地改良区が合併し、入善土地改良区が発足。／入善漁協の海洋深層水アワビ養殖施設が完成。



総合体育館

10月 町長・町議のダブル選挙が行われ、町長には無投票で柚木春雄氏が3選。町議では現職17名、新人3名が当選。／アサヒビ

ル飲料が入善町に工場進出を正式発表。／平成2年11月 舟見地区に温泉利用の合計画が21世紀に向けてスタート。

11月 第一倉庫社長宮崎隆造氏が建設し、町議ダブル選挙が行われ、町議では現職22人が当選。

9月 前年の町長選挙が無効になったことによる町長選挙で米澤政明氏が再選。

5月 県道黒部朝日公園線の改良工事が完了し、黒部川橋が開通。

10月 2000年とやま国体秋季大会が開幕。入善町は成年女子9人制バレーボール競技会場として熱戦が展開される。

10月 町長・町議のダブル選挙が行われ、町長には無投票で柚木春雄氏が3選。町議では現職17名、新人3名が当選。／アサヒビ

ル飲料が入善町に工場進出を正式発表。／平成2年11月 舟見地区に温泉利用の合計画が21世紀に向けてスタート。

11月 第一倉庫社長宮崎隆造氏が建設し、町議ダブル選挙が行われ、町議では現職22人が当選。

9月 前年の町長選挙が無効になったことによる町長選挙で米澤政明氏が再選。

5月 県道黒部朝日公園線の改良工事が完了し、黒部川橋が開通。

10月 2000年とやま国体秋季大会が開幕。入善町は成年女子9人制バレーボール競技会場として熱戦が展開される。

10月 町長・町議のダブル選挙が行われ、町長には無投票で柚木春雄氏が3選。町議では現職17名、新人3名が当選。／アサヒビ

ル飲料が入善町に工場進出を正式発表。／平成2年11月 舟見地区に温泉利用の合計画が21世紀に向けてスタート。

11月 第一倉庫社長宮崎隆造氏が建設し、町議ダブル選挙が行われ、町議では現職22人が当選。

9月 前年の町長選挙が無効になったことによる町長選挙で米澤政明氏が再選。

5月 県道黒部朝日公園線の改良工事が完了し、黒部川橋が開通。

10月 2000年とやま国体秋季大会が開幕。入善町は成年女子9人制バレーボール競技会場として熱戦が展開される。

10月 町長・町議のダブル選挙が行われ、町長には無投票で柚木春雄氏が3選。町議では現職17名、新人3名が当選。／アサヒビ

ル飲料が入善町に工場進出を正式発表。／平成2年11月 舟見地区に温泉利用の合計画が21世紀に向けてスタート。

11月 第一倉庫社長宮崎隆造氏が建設し、町議ダブル選挙が行われ、町議では現職22人が当選。

9月 前年の町長選挙が無効になったことによる町長選挙で米澤政明氏が再選。

5月 県道黒部朝日公園線の改良工事が完了し、黒部川橋が開通。

10月 2000年とやま国体秋季大会が開幕。入善町は成年女子9人制バレーボール競技会場として熱戦が展開される。

10月 町長・町議のダブル選挙が行われ、町長には無投票で柚木春雄氏が3選。町議では現職17名、新人3名が当選。／アサヒビ

ル飲料が入善町に工場進出を正式発表。／平成2年11月 舟見地区に温泉利用の合計画が21世紀に向けてスタート。

11月 第一倉庫社長宮崎隆造氏が建設し、町議ダブル選挙が行われ、町議では現職22人が当選。

9月 前年の町長選挙が無効になったことによる町長選挙で米澤政明氏が再選。

5月 県道黒部朝日公園線の改良工事が完了し、黒部川橋が開通。

10月 2000年とやま国体秋季大会が開幕。入善町は成年女子9人制バレーボール競技会場として熱戦が展開される。

10月 町長・町議のダブル選挙が行われ、町長には無投票で柚木春雄氏が3選。町議では現職17名、新人3名が当選。／アサヒビ

ル飲料が入善町に工場進出を正式発表。／平成2年11月 舟見地区に温泉利用の合計画が21世紀に向けてスタート。

11月 第一倉庫社長宮崎隆造氏が建設し、町議ダブル選挙が行われ、町議では現職22人が当選。

9月 前年の町長選挙が無効になったことによる町長選挙で米澤政明氏が再選。

5月 県道黒部朝日公園線の改良工事が完了し、黒部川橋が開通。

10月 2000年とやま国体秋季大会が開幕。入善町は成年女子9人制バレーボール競技会場として熱戦が展開される。

10月 町長・町議のダブル選挙が行われ、町長には無投票で柚木春雄氏が3選。町議では現職17名、新人3名が当選。／アサヒビ

ル飲料が入善町に工場進出を正式発表。／平成2年11月 舟見地区に温泉利用の合計画が21世紀に向けてスタート。

11月 第一倉庫社長宮崎隆造氏が建設し、町議ダブル選挙が行われ、町議では現職22人が当選。

9月 前年の町長選挙が無効になったことによる町長選挙で米澤政明氏が再選。

5月 県道黒部朝日公園線の改良工事が完了し、黒部川橋が開通。

10月 2000年とやま国体秋季大会が開幕。入善町は成年女子9人制バレーボール競技会場として熱戦が展開される。

10月 町長・町議のダブル選挙が行われ、町長には無投票で柚木春雄氏が3選。町議では現職17名、新人3名が当選。／アサヒビ

ル飲料が入善町に工場進出を正式発表。／平成2年11月 舟見地区に温泉利用の合計画が21世紀に向けてスタート。

11月 第一倉庫社長宮崎隆造氏が建設し、町議ダブル選挙が行われ、町議では現職22人が当選。

9月 前年の町長選挙が無効になったことによる町長選挙で米澤政明氏が再選。

5月 県道黒部朝日公園線の改良工事が完了し、黒部川橋が開通。

10月 2000年とやま国体秋季大会が開幕。入善町は成年女子9人制バレーボール競技会場として熱戦が展開される。

10月 町長・町議のダブル選挙が行われ、町長には無投票で柚木春雄氏が3選。町議では現職17名、新人3名が当選。／アサヒビ

ル飲料が入善町に工場進出を正式発表。／平成2年11月 舟見地区に温泉利用の合計画が21世紀に向けてスタート。

11月 第一倉庫社長宮崎隆造氏が建設し、町議ダブル選挙が行われ、町議では現職22人が当選。

9月 前年の町長選挙が無効になったことによる町長選挙で米澤政明氏が再選。

<p

平成15年～ 2003～

- 平成15年4月 財団法人入善町農業公社が発足。／新川広域圏事務組合ケーブルテレビ「みらいれTV」が開局。

- 5月 入善、黒部、宇奈月、朝日の1市3町で法定合併協議会「黒部市・宇奈月町・入善町・朝日町合併協議会」を設立。

- 7月 宮城県米山町からダチョウが「親善大使」として贈られ、駄鳥園が開園。

- 10月 入善町合併50周年記念式典を開催。／米山町と姉妹都市を提携。／山本正勝氏を名誉市民に推戴。

- 平成16年3月 法定合併協議会からの離脱を決意表明。／役場がISO14001認証取得。

- 4月 合併協議会で、協議会廃止の方針を全会一致で了承。

- 7月 新潟豪雨で被災した新潟県見附市へ町職員ボランティアを派遣。

- 10月 台風23号により「杉沢の沢スギ」に大きな被害。／新潟中越地震の救援物資を被災地へ。

- 平成17年2月 プラスチック偏光板メーカーの株式会社サンリツが工場進出を発表。

- 3月 第2次入善町行財政改革大綱を策定。併せて同実行計画及び第3次職員定員管理計画を策定し、行財政改革を行。

- 4月 合併協議会で、協議会廃止の方針を全会一致で了承。

- 7月 新潟豪雨で被災した新潟県見附市へ町職員ボランティアを派遣。

- 10月 台風23号により「杉沢の沢スギ」に大きな被害。／新潟中越地震の救援物資を被災地へ。

- 平成17年2月 プラスチック偏光板メーカーの株式会社サンリツが工場進出を発表。

園線等)完成。／板屋地区で新川広域圏事務組合し尿処理施設「クリーンぱーと」竣工。／舟見寿樂苑にユニットケア棟「ひばり野苑」が完成。



邑町サイノカミ



入善乙女キクザクラ

- 4月 入善中学校・舟見中学校統合。

- 9月 無投票で米澤町政第4期スタート。

- 3月 11日午後2時46分ごろ、東日本大震災が発生。／こあら保育所が完成。／高波災害の義捐金を元に創設した「復興支援基金」(全額約1362万円)を日本赤十字社へ預託。

- 4月 「扇状地に水と幸せがあふれるまち入善」を将来像に新総合計画がスタート。

- 5月 飲料メーカー2社と災害協定。

- 9月 カンボジア・山本学校から初となる交流使節団9人が来町。

- 10月 医療費助成の対象を中学3年生まで拡大。

11月 町営バス路線を見直し、バス3台で車両を町内155カ所に設置。

4月 子どもの医療費助成制度の対象年齢を小学3年生まで拡大。

7月 見附市と災害時相互応援協定を締結。

9月 青木地区の結成をもつて全地区で自主防災会が設立完了。

10月 青野自然公園にパークゴルフ場完成(18ホール)。

初派遣。／国道8号入善黒部バイパス(上野→東京)開通。

● 平成19年2月 入善ジャンボ西瓜が特許の地域団体商標に県内第1号認定。



青野自然公園パークゴルフ場



入善ジャンボ西瓜

太陽光発電システム導入。

7月 高波災害の復旧工事が本格化。

3月初出荷。／CO₂など温室効果ガス排出削減に向け新エネルギービジョン策定。

● 平成21年1月 株式会社ウーケが完成。

10月 子どもの医療費助成を小学3年生から6年生までに拡充。

33

● 平成22年3月 地球温暖化防止地域推進計画策定。／上原・邑町のサイノカミが国的重要無形民俗文化財に指定。／市街施設「うるおい館」が着工。／入善分団消防屯所完成。／災害時要援護者マップ、ケアンネット活動の開始。

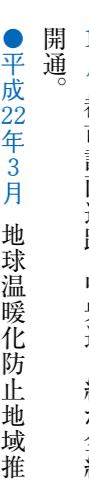
7月 入善スマートICが新潟方面通行可能にリニューアルオープン。／桃李小学校に学童保育所を開設。

11月 青野自然公園パークゴルフ場を拡張(9ホール)。／入善浄化センター風力発電施設が本格稼動。／無菌化包装米飯(パックご飯)を製造する株式会社ウーケが海洋深層水企業団地への進出を表明。

12月 入善町教育推進計画策定。

● 平成20年2月 芦崎地区を高波が襲い、死者1人、負傷者15人、建物350棟以上が被災。護岸堤防も壊滅状態に。

4月 CO₂1万t削減プロジェクト開始。／入善まちなか交流施設「うるおい館」が完成。



入善净化センター風力発電施設

● 平成22年3月 地球温暖化防止地域推進計画策定。／上原・邑町のサイノカミが国的重要無形民俗文化財に指定。／市街施設「うるおい館」が着工。／入善分団消防屯所完成。／災害時要援護者マップ、ケアンネット活動の開始。

12月 都市計画道路・中央通り線が全線開通。

3月 ひばり野保育所が完成。／高波災害が起きた下新川海岸が、全国初の「水防警報海岸」に指定。／入善中学校の耐震化大規模改修工事完了をもって、全小学校の耐震化終了。

10月 子どもの医療費助成を小学3年生から6年生までに拡充。

34

水の未来

The Future of Water
 エネルギー
 海洋深層水
 産業

緑の田園空間に水のちからでつくる、
 エネルギーあふれる未来。



このまちの基盤をつくってきたのは、豊かな黒部川の流れ。その水と闘い、恵まれた水資源へと変えてきた先人の努力と知恵です。私たちが受け継ぎできた貴重な財産と精神を守り、入善町をさらに発展させるため、扇状地を舞台にあらたなエネルギーや観光資源の開発などの取り組みが始まっています。

農業用水を利用した小水力発電の実証実験のほかにも、海洋深層水の水温の低さを利用して空調システムを導入した企業もあり、海洋深層水のエネルギー活用の今後が期待されています。

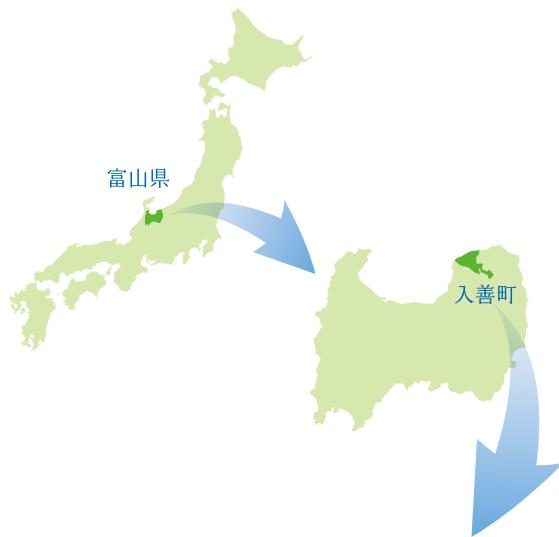
水する舟川ダムが平成24年に竣工しました。このまちは、環境や人に優しい、未来型の暮らしが見えてきます。そして田園空間は、多様な特産物と貴重な生活文化を創りました。もちろん、ここに暮らす人々の人間味も。映画「少年時代」の原作となった芥川賞作家・柏原兵三の小説「長い道」の舞台でもあります。文字を育む地域の魅力が、このまちの新たな自信になるはずです。

平成18年には入善スマートICが設置され、平成27年春にはいよいよ北陸新幹線が開業します。開業後は、東京～黒部宇奈月温泉駅間はわずか2時間。あらたな観光資源として、環境にやさしく心やすらぐ田園空間と人々の営みが注目されています。町の魅力を活かし、情報を発信する多彩な取り組みを、未来に向かってすすめていきます。

Plans are in action to make the Kurobe River alluvial fan the center stage for the development of both renewable energy sources and tourist attractions. These plans include the implementation of energy-conserving wind-based sewer systems, the utilization of deep-ocean water energy, and the Funagawa Dam that has already been built as a counter-measure for flooding. Nyuzen is future-oriented, and as such its technological advancements are benefiting not only its people but the environment. In 2006, the Nyuzen Smart IC (Automated Highway Toll System) was established, and in the spring of 2015 the long-awaited Hokuriku Shinkansen Bullet Train will open. With the Hokuriku Shinkansen, it will only be a 2-hour ride from Tokyo Station to Kurobe-Unazukionsen Station. Soon, the tranquil scenery of Nyuzen will be available for all to see.



ほぼ同じ距離にある入善町。



じゅわ～と
にゅうぜん



ジャンボヘル三世

水の町 4

The
Town
of Water

交通ガイド



JR 入善駅または富山駅までの所要時間

ルート	所要時間
東京駅 - 越後湯沢駅 - 入善駅	2時間56分
名古屋駅 - 米原駅経由 - 富山駅	3時間6分
名古屋駅 - 高山駅経由 - 富山駅	3時間43分
大阪駅 - 富山駅	3時間12分

航空 富山空港までの所要時間

出発	運航本数	所要時間
羽田	6便/日	約1時間
札幌	1便/日	約1時間30分
ソウル	3便/週	約2時間
大連	2便/週	約1時間50分
上海	2便/週	約2時間30分
台北	4便/週	約2時間30分

平成25年9月現在



The Town of Water

写真情報誌
にゅうぜん

水の町



富山県入善町町勢要覧 2013

www.town.nyuzen.toyama.jp

入善町役場 富山県下新川郡入善町入膳 3255

